

学習内容報告書 フォーマット

学校名	青森市立北小学校
授業者	桧森 菜那

1. 単元計画

1-1. 単元名

海と友だちになろう

1-2. 学年

3 学年

1-3. 教科

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

海洋教育の一環として、「自然とのふれあい学習会（地引き網体験）」、「水産振興センター見学」、「浅虫水族館のバックヤード見学」、「メモリアルシップ八甲田丸船内ツアー」の4つの学習内容を個別に捉えるのではなく、包括的に捉え学習する。

～主な活動～

- 海のおよさや調ぶたいことについて話し合う
- 自然とのふれあい学習会（地引き網体験）
- 水産振興センター見学
- 浅虫水族館バックヤード見学
- メモリアルシップ八甲田丸船内見学
- 壁新聞作成のための記事作り
- 壁新聞作成をし、発表会を行う

1-5. 単元設定の理由・ねらい

児童が、海のおき物や航路を利活用する仕事に携わる人に興味をもち、実際に見学して情報や資料を集め、理解したことや考へたことを自分の言葉で表現する体験的な学習を中心に進める。このことにより、海のおき物を利活用する仕事に携わる人々や航路を利活用する仕事に携わる人々の願いや思いに気付き、少しでも海に対する思いを高め、海を大切にしようとする心情を養うことを目指す。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・調べてみたいことや、やってみたいことなどをもとに課題を設定し、海のおき物や航路を利活用する仕事について資料や情報を進んで収集し、仕事の内容の概要を理解する力。
- ・収集した情報を比較・分類しながら整理し、海のおき物や航路を利活用する仕事に携わる人々に共通する願いや思いを考へ、自分の言葉でまとめる力。
- ・海のおき物や航路を利活用する仕事に携わる人々に共通する願いや思いを共感的に捉え、海を大切にするために自分なりにできることを実行しようとする態度。

1-7. 単元の展開（全25時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1時	<p>海のおよさを考へて調べたいことをまとめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海のおよさや調べてみたいことを話し合う。 ・意見交流をし、出た意見を模造紙にまとめる。 ・海のおよき物や航路を利活用する仕事について調べてみたいことをワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海のおよさや調べてみたいことについて児童に質問し、出た意見をイメージマップにして示す。 ・今後の学習の見通しをもたせる。 ・海（海のおよき物）について連想することが難しい児童に対して図書室の本を用意し、連想しやすくする。 <p>【教】「学研の図鑑 魚」「学研の図鑑 水のおよき物」「新 さかな大図鑑」</p> <p>【評】海を連想しながら海のおよさや調べてみたいことをイメージマップにまとめ、自分なりに調べてみたいことを明らかにしているか。</p>
2時	<p>自然とのふれあい学習会に参加して海のおよき物を知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地引き網を引く体験をする。 ・魚に触れる際の注意事項を知る。 ・魚を実際に見たり触ったりする体験をする。 	<p>【外】網を引く際の注意事項を確認してもらう。（地域の漁業研究会）</p> <p>【外】魚をさわる際の注意事項と観察の観点を確認してもらう。（水産振興センター）</p> <p>【評】調べてみたいことや、やってみたいことなどをもとに、海のおよき物や仕事について知ることができたか。</p>
3時	<p>水産振興センターを見学して海のおよき物をもっと知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産振興センター内の魚や魚を増やす施設・設備の見学をする。 ・質疑応答をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学マナーを確認する。 ・見学の観点を確認する。 <p>【外】水産振興センター職員による施設見学</p> <p>【評】調べてみたいことや、やってみたいことなどをもとに、海のおよき物を増やす仕事について知ることができたか。</p>
4時	<p>自然とのふれあい学習会を振り返ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の感想を発表する。 ・絵日記を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験したことをもとに海のおよき物を増やす仕事に携わる人々の願いや思いを考へながら書くよう助言する。 <p>【評】収集した情報を整理し、海のおよき物を増やす仕事に携わる人々に共通する願いや思いを考へ、自分の言葉で表しているか。</p>
5時	<p>水産振興センター見学を振り返ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で見学の感想発表をする。 ・水産振興センター職員へお礼の手紙を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水産振興センター見学についてグループ内で感想を発表させる。 ・お礼の手紙を添削する。 <p>【評】収集した情報を整理し、海のおよき物を増やす仕事に携わる人々に共通する願いや思いを考へ、自分の言葉で表しているか。</p>

6時	<p>浅虫水族館バックヤード見学・八甲田丸船内見学の準備をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産振興センター見学を振り返り、水産振興センターと見学先の関係性について考える。 ・見学の自己目標を立てる。 ・しおりの内容を確認する。 ・質問事項を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水産振興センターと見学先の関係性を考えさせる。 ・見学マナーや当日の日程を確認する。 ・自己目標と質問したいことをしおりに書かせる。 <p>【評】海の生き物や航路を利活用する仕事について質問したいことを考えているか。</p>
7時 10時	<p>浅虫水族館バックヤード・メモリアルシップ八甲田丸の見学をしよう</p> <p>浅虫水族館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2班に分かれてバックヤード見学をして、児童から職員へ質問をする。 ・学級全体でイルカショーを見学する。 ・3班に分かれて施設見学・施設（生き物）の写真撮影 <p>メモリアルシップ八甲田丸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級全員で船内見学 ・児童から八甲田丸職員へ質問する。 	<p>【外】バックヤードの大型冷凍庫は、水族館内の生き物のえさを長期保存させるためにあることを知らせる。（浅虫水族館職員）</p> <p>【外】水槽を真上から見せたり、海水についてパネルを使って説明したりする。（浅虫水族館職員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師は海の生き物と浅虫水族館職員の仕事内容との関わりを児童に教える。 <p>【外】船の歴史や動かし方を児童に教える。（八甲田丸職員）</p> <p>【外】児童からの質問に答える。（八甲田丸職員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師は児童と一緒に操舵室の機器類を操作して、船上で働く体験をさせる。 <p>【評】調べてみたいことや、やってみたいことなどをもとに、海の生き物や航路を利活用する仕事について資料や情報を進んで収集し、仕事の内容の概要を理解できたか。</p>
11時	<p>見学のまとめと振り返りをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学をして新たに分かったことをまとめる。 ・海の生き物や航路を利活用する仕事に携わる人々に共通する願いや思いを考えながら活動を振り返る。 ・振り返った内容を発表し、しおりに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学をして分かったことや感じたことをしおりにまとめさせる。 <p>【評】収集した情報を比較・分類しながら整理し、海の生き物や航路を利活用する仕事に携わる人々に共通する願いや思いを考え、自分の言葉で表しているか。</p>
12時 14時	<p>壁新聞を作りのポイントを知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学の振り返りをする。 ・見学の振り返りをもとに、記事にしたい内容を決定する。 ・壁新聞の作り方を知る。 ・記事を作成する。 ・今後自分にできることを考え、感想として書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学の振り返りをさせる。 ・壁新聞にどんな内容を書けると、海の生き物や航路を利活用する仕事について相手に伝えることができるかを確認する。 ・壁新聞の書き方の見本を提示する。 ・記事を添削する。 <p>【評】収集した情報を整理して、海の生き物や航路</p>

		を利活用する仕事について分かったことを自分の言葉で表しているか。
15 ～ 19 時	壁新聞を作ろう（グループ） ・レイアウトを決める。 ・下書きをする。 ・ペンなぞりをする。	・見やすい壁新聞になるよう助言する。 【評】収集した情報を比較・分類しながら整理し、海の生き物や航路を利活用する仕事に携わる人々に共通する願いや思いを考え、自分の言葉で表しているか。
20 ～ 24 時	壁新聞発表会の練習をしよう ・海の生き物や航路を利活用する仕事に携わる人々に共通する願いや思いが伝わる発表になっているかをお互いに確認し合う。 ・グループごとに発表練習をする。	・海の生き物や航路を利活用する仕事に携わる人々に共通する願いや思いが伝わる発表になるよう机間指導する。 ・見やすく、聞きやすい発表になるよう助言する。 【評】まとめた内容をもとに、海の生き物や航路を利活用する仕事に携わる人々に共通する願いや思いをどのように相手に伝えるかを考えながら発表練習しているか。
25 時	参観日での壁新聞を発表しよう ・学習の学びを発表する。 ・感想や質問を述べる。	・練習中の様子や、各班が調べてまとめた内容を説明する。 ・発表で良かった点や質問を伝え合わせる。 【評】海の生き物や航路を利活用する仕事に携わる人々に共通する願いや思いをどのように相手に伝えるかを考えながら練習してきたことを自分の言葉で相手に伝えているか。 【評】海の生き物や航路を利活用する仕事に携わる人々に共通する願いや思いを共感的に捉えながら、海を大切にするために自分なりにできそうなことを発言しているか。

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

2-2. 本時の目標

調べてみたいことや、やってみたいことなどをもとに、海の生き物や航路を利活用する仕事について資料や情報を進んで収集し、仕事の内容の概要を理解することができる。（知識・技能）

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1. 浅虫水族館のバックヤードを見学し、裏側の仕組みや働く人の工夫を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水槽を真上から見ると、見え方が違うね。 ・海水がどこから来るのかが分かった。 ・大きな冷凍庫があるのを初めて知った。 ・バックヤードに魚たちのえさがあり、ここで保存されているんだ。 ・飼育員さんが工夫しているから魚が元気であるだね。 <p>2. 館内見学と浅虫水族館職員・水産振興センター職員への質問 (イルカショー見学含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物はどこで捕まえたのですか。 ・奥内で捕れた海の生き物も浅虫水族館にいたんだね。 ・えさ代はどのくらいかかるのですか。 ・どうやって水槽を掃除しているのですか。 ・飼育員さんはどうやってイルカに指示を出しているのですか。 ・働いて大変なことは何ですか。 ・働いて楽しいことは何ですか。 <p>(浅虫水族館からメモリアルシップ八甲田丸へ移動)</p> <p>3. メモリアルシップ八甲田丸船内見学と八甲田丸職員への質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船はどうやって動かすのですか。 ・この船はいつ使っていたのですか。 ・働いて大変なことは何ですか。 ・働いて楽しいことは何ですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バックヤードの大型冷凍庫は、水族館内の生き物のえさを長期保存させるためにあることを知らせる。(浅虫水族館職員) ・水槽を真上から見せたり、海水の流水路についてパネルを使って説明したりする。(浅虫水族館職員) ・海の生き物と浅虫水族館職員の仕事内容との関わりを児童に教える。(教師) <ul style="list-style-type: none"> ・児童の質問や疑問に答える。(浅虫水族館職員・水産振興センター職員 (引率補助)) ・釣った海の生き物を浅虫水族館で飼う場合もあることを知らせる。(水産振興センター職員) ・働く苦労や喜びから、海の生き物に対する真剣な思いを捉えさせるきっかけをつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ・船の歴史や動かし方を児童に教える。(八甲田丸職員) ・児童と一緒に操舵室の機器類を操作して、船上で働く体験をさせる。(教師) ・働く苦労や喜びから、安全な航行や海に対する真剣な思いを捉えさせるきっかけをつくる。 <p>【評】調べてみたいことや、やってみたいことなどをもとに、海の生き物や航路を利活用する仕事について資料や情報を進んで収集し、仕事の内容の概要を理解することができたか。(見学の様子・しおり)</p>

3. 今回の活動の自己評価

- ・実際に各施設を見学し、詳しく説明していただくことで海の学習に対する意欲が増し、興味や疑問をもつことができた。
- ・班行動をさせることで効率よく見学ができ、カメラ撮影や質問の時間を設定することで、主体的に学習に参加することができた。
- ・見学や本物を手にとった体験をふんだんにしたことにより、初めての新聞の記事づくりでも、具体的な事実や自分の感想などをのびのび書くことができた。
- ・各施設を見学したことで、働く人は人々のため、また海の環境を守るためにたくさんの工夫をしていることに気付くことができた。
- ・給食の食材に興味をもつようになり、食べ物を粗末にしない気持ちが高まった。

4. 今後の課題

- ・海洋教育で学んだことを、異学年交流を通して伝え合う活動があると北小学校の海洋教育の学びが深まる。
- ・ZOOMを活用して、見学先職員や水産振興センター職員へ発表の様子を配信することで、感謝を伝えることができる。さらに、見学後に生まれた疑問を聞くことで内容理解が深まり、次の学習意欲へもつながる。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・社会科の「店ではたらく人」の学習と関連させた学習計画とすると、相乗効果が得られる。
- ・借り上げバスの経費負担を抑えるため、一度の見学で2箇所の施設を訪問している。